



伊豆の国市 議会だより

2011年11月1日発行
No. 24

編集
伊豆の国市議会だより特別委員会
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



タイトル：初めての油絵（城山）
大仁中2年生 清水ひなの さん

9 月定例会

一般質問	2
委員会報告	8
議案一覧	12

議員の問いと
行政の答え

一般質問

一般質問は13名が行い、^{ただ}当局の考え方を質しました。

(仮称)動物の愛護と
福祉のセンターについて

高橋公一

問

サンフロント21懇話会がスポーツワールド跡地に、動物の保護や関連する教育、福祉の拠点施設「(仮称)動物の愛護と福祉のセンター」の推進を県に提言したが、

- ①動物愛護センターとは。
- ②スポーツワールド跡地の全体の利用計画が、未確定の中この事業の位置づけは。
- ③雇用機会が増加するか。
- ④観光誘客活動への波及効果は。
- ⑤生き物によるトラブルは。
- ⑥市に財政負担が生じないか。

答

①「動物臨床医学研究所」からは県へ具体的な計画が示されていない。②経済状況に左右されない事業の誘致を考えている。③具体的な計画がないので雇用につ

いては不明。④観光誘客をふ

まえた施設運営を期待。⑤財団の理念からトラブルは発生しにくい。⑥土地の契約は、土地開発公社から土地を購入した後に契約する。

地元住民が反対する中で焼却場建設を強行するの

問

①環境影響調査説明会に地元の参加者数は。

答

②反対意見書の捉え方は。

③今後の事業展開は。

①二回の説明会で計七名。②当該地区は、ごみ行政についてご協力を頂いてきている事もあり、特別な

感情もあると受け止め今後も交渉を進める。③迷惑施設というイメージを払拭する施設にしたい。

葦山反射炉世界文化遺産
候補追加について

鈴木幸雄

問

葦山反射炉が六月六日に「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産候補に追加されましたが、世界遺産登録の進め方は。

答

平成二五年に推薦書原案を作成し、二七年の登録を目標に作業を進めております。市民の皆様にも登録に向けて積極的に応援していただき、小中学校に於いても反射炉や江川邸についての学習を、今にも増していく必要があると思います。

環境、交通、規制強化等のデメリットの問題も出来る限り対応を進めたいと考えてお

り、調査委員会の指導や文化庁との協議をしながら保存計画の策定も行います。水車小屋、作業小屋、製砲工場等の復元は、真実性のある根拠に基づかないと登録に支障があると聞いております。

周辺の整備については具体的な計画は特にごいませんが、専門家の調査結果では整備が必要になるかもしれません。

安全、安心、健康のまちづくり事業について

問

「農土香」の堆肥製造の進捗状況は。

答

堆肥製造についてはスムーズに実施しておりますが、一般家庭の生ゴミを市内全域回収するには一〇年はかかるかと思っております。堆肥のトラック運搬については、今後考慮してみたいと思っております。



焼却場建設反対看板

市の防災対策について

問

避難所への備蓄品の充実や各防災会にデジタル無線機の配布を。

答

災害時に避難所となりうる各区公民館の耐震化補助制度等を調査しており、備蓄品は発電機、毛布、食料品等準備しております。

や副読本が、市民に葦山反

射炉を知ってもらうための種まきにつながればと考えています。この啓発事業は

一時的なものでなく、息の長い取組みと考えます。

葦山反射炉世界文化遺産登録推進事業について

柴田三智子

問

啓発事業の一つとして反射炉を建設した江川坦庵公を絵本にして理解しやすいPR資料を、市民の方々と一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

答

坦庵公の偉業を市民に知ってもらうため、絵本や副読本のパンフレットが必要だと考えています。また市民の方々と協働する事も考えております。絵本



葦山反射炉

観光地としての飼い主のいない猫に対する対策について

問

素晴らしい観光地を目指す上で、飼い主のいない猫（野良猫）の問題を具体的に解決していくべきだと考えます。今後、野良猫を増やさないと

めにも、不妊・去勢手術への助成を関係団体と連携してはいかがでしょうか。

答

沼津市・三島市・裾野市・伊東市・熱海市・長泉町・小山町で助成を実施しています。その効果はつきりと分からない現状があります。

今後は、助成制度を設けていない市町の状況も踏まえ、関係団体のご意見を伺いながら、対応を検討していきたいと考えております。



**田京駅北側
交差点の安全対策を
三好陽子**

問 田京駅周辺道路は、交通量が多く狭いです。



田京駅北側交差点

以前から地元区や住民から道路拡幅や交差点改良の要望が出ています。早期の安全対策が必要ですが、今後の見通しは。

答

田京駅を含め、周辺整備の具体化に向けて積極的に伊豆箱根鉄道と協議を重ねていきたいです。田京駅を東西に走る市道の拡幅や、市道一〇一号線との交差点改良等は、具体的な交通量調査や、概略予算の算出を重ねながら事業展開を図りたいと考えています。

**高齢者が安心して暮らせる
介護保険事業に**

問

平成一二年から始まった介護保険制度は、三年毎に計画見直しすることになっていきます。六月に法改正があり、市町村の判断による事業も創設され、市の役割が重要になってきています。第五次介護保険事業計画策定の進捗状況は。

答

昨年一二月、高齢者実態調査を実施し、六月には初回の介護保険運営協議会を開催しました。現在、給付状況の分析や実態調査をもとにサービス見込み量・保険料の設定作業をしています。

問

来年度からの六五歳以上のの方々の保険料は、どの位になる見通しか。

答 現在の介護保険料基準月額四二〇〇円を据え置くことは難しいと考えています。

一般家庭の生ごみも
堆肥化の促進を

田中正男

問 「資源循環センター農土香」で、現在は給食や旅館の食品残渣を堆肥化しているが、状況はどうか。

また、資源循環や燃やすごみの減量対策として、一般家庭の生ごみ堆肥化は有効で期待されている。早期に促進すべきではないか。



資源循環センター農土香

答

良質の完熟堆肥の製造により、利用者の評判

も良好である。

一般家庭の生ごみは、旧葦山町で実施したモデルケースの結果を踏まえ、今後の施設の拡大も視野に、着手できる所から早期に実施していきたいと考えている。

地域芸能伝承施設計画は

観光や地域に有効なものに

問 古奈の大観宮跡地を地域芸能伝承施設として

基本設計が予定されているが、
①施設の規模や内容は、
②跡地全体の利用計画は、
③観光振興、地域や市民が利用できるものにすべきでは、

答

①芸妓踊りなど各種伝承芸能の披露や練習ができる小規模ホールと展示場など。②駐車場のほか、建物と一体に使える賑わい創出の広場を。③観光の拠点に。また、貸し館として市民も利用できるように。

住民猛反対のごみ処理施設
建設候補地見直しを

古屋鋭治

問 該当区（珍野・長塚・花坂）住民は、約五〇年に及ぶごみ処理事業への協力や現施設の煙害等に我慢してきた。

また、旧伊豆長岡町と地元との約束文書がある。行政は、地元との約束を守り、候補地の見直しを行うべきである。スポーツワールド跡地が候補地となり、該当区住民は猛反対している。強引に事業推進する理由は、

答

三区住民は、施設の環境・安全への懸念、観光のイメージダウン、住民感情は確認事項（文書）があること、施設に隣接していること等で反対している。反対はと等で反対している。反対はあるが、既存施設の老朽化や補修に膨大な費用がかかっており、新施設整備が急務であり推進する。

コミュニティバスの

試行運転について

問 今年度計画の、試験運転進捗状況、運行経路、運行時期等について説明を。

なお、住民のニーズに合わなければ利用されない。運行コース・時間は、市が一方的に決定することなく、該当地域住民の要望を聞いた上で決定するよう求める。

答

二三年度の実車試験は、千代田団地から松原橋・葦山庁舎前を経由し葦山駅まで。運行期間は、一月

水道事業の課題と

今後の方向性について

水口成男

問 効率的な事業運営と給水サービス向上を実現するためのアウトソーシング（外部委託）の業務内容と経費効果は、

答

委託業務は、口座振替や納付書の発送等の水道料金の調定・収納業務や給水停止を含む滞納整理などの徴収業務。

お客様センターを開設し、窓口サービスの向上などに効果を期待する。なお、予算・決算など公営企業会計業務は直営。



建設候補地住民は猛反対

下水道事業の現況と将来像について

問 認可変更の区域とその理由は。

答 中島・吉田地区の浸水被害軽減を目的に整備を計画する神島ポンプ場に係る認可変更で、拡張する区域は中島排水区四八・七七ha。

行政評価システムの導入について

問 総合計画に基づいて市政の運営に取り組み市が自らの責任によって政策を決定し、地域の特性を活かしたまちづくりを進めることが求められているなか、行政評価システムの導入は。

答 他都市の状況を参考にしつつ検討を進め、都市行政評価ネットワーク会議における都市間比較とともに、真の意味で機能する行政評価システムの検討を進めていきたいと考えている。

旧慣使用権・入会権について

問 条例制定出来ない理由は。

答 今後必要に応じて条例や規定等について検討したいが、当面、旧三町それぞれの地区において入会権の歴史や当時の協定・覚書等に基づいて事務を進めていきたいと考えている。

古奈・富士見地区の豪雨時の浸水対策について

松下善洋

問 曙地区・富士見地区周辺の豪雨等による道路冠水の対策は。

答 古奈区と富士見区と数回にわたり検討会を開催し、建設事業費が多額となる公共下水道の雨水対策事業による水路改修を行うか、市単独工事として既存の古奈雨水幹線へバイパス水路を作る方法等を協議、

検討してきた。

結果として、地元の建物移転まで考えた大きな事業よりもバイパス水路の建設との結論を得て、進めていくことを考えている。

問 天野地区から富士見地区へ排水が流れている

が、堰口樋管の幅が狭く流れが悪いので、その対策は。

答 旧伊豆長岡町の時に、樋管までの天野原川の改修を行い、計画洪水流量に合致した樋管改修を国土交通省に要望してきた。

平成一七年河川法の改正



冠水した道路

により、改修は内水管理者

(市)の施工になったが、老朽化や断面不足・逆勾配等が考えられる時は、河川管理者である国土交通省が施工する場合もあるので、協議をして改修をお願いしてきた。

問 千歳樋管上流の県道、古奈伊豆長岡停車場線の排水改修工事は。

答 現在は県道の中に入っているパイプは直径八〇センチですので、今後排水量を考え内水対策を考えていきたい。

答 避難所や備蓄品は見直し中で、要援護者の避難所や名簿作成等計画的に進めたい。自助共助は家庭や地区ごとの努力とともに啓蒙を図りたい。防災マップづくり等で地域の再確認を地区ごとにさせたい。

問 減災に耐震化と自助共助力を高める策を。

答 地区ごとに異なる状況を知らせ、地区施設の耐震化など積極的に取り組むたいが、地区でも考えて欲しい。

問 地域の防災計画や弱者支援の密度を高め、継続し定着させるために、防災リーダーの組織化を。

答 考えてみる必要がある。

災害時弱者支援と防災リーダーの組織を

後藤眞一

問 防災計画見直しの際に、弱者支援と福祉避難所設置・自助共助力の向上・地区防災・減災力向上策を。

答 (仮称)動物の愛護と福祉のセンター構想は白紙である

問 当該センターの運営や事業の具体的実体は不

明で、土地や建物は自治体や民間でという体質や、地域活性化に結びつくものも見えないうが誘致するのか。

答 公益財団法人であり獣医学に関する広い活動をしている。ファルマバレー構想や観光との関連性は、現段階では具体的事業計画がわからないため説明できないが期待したい。

問 具体的提言が無いものややるうとするのは違うのではないか。

答 煮詰めて研究した状態ではない。全くの白紙状態だ。

問 スポーツワールド跡地の活用は、市民に情報提供を。

答 いい情報があれば話してもよいが、一人歩きが確実に話せない。

洞川流域への調整池建設の進捗状況
渡邊俊一

問 洞川流域に計画されていた調整池の進捗状況は。

答 県河川部に、上中流部二基の調整池の効果検証の資料を作成して説明を重ねて了承して頂きました。

県の財政が厳しい状況ではありますが、今後は、来年度の重要河川等改修県費補助事業として採択を受けられるよう県に要望していきます。

しかし、建設予定地は農業振興地域であり、農政部局と除外についての協議が必要ですので、これから協議を行う予定です。

問 狩野川中流域豪雨災害対策アクションプランに示されている公共用地の調整池化の進捗状況は。

答 平成二二年度に大仁中学のグラウンドや、本年四月に新園舎がオープンした田京幼稚園や長岡幼稚園の園庭についても調整池の機能を有しております。現在、建設が進められている共和幼稚園、また、平成二四年度に建設が計画されている堀越保育園についても園庭を調整池とするような設計になっていきます。

答 どの部門が窓口になるかも含めて、これから内部で十分な打ち合わせを行って回答させて頂きたいと思えます。

後期基本計画に「医療特区」の考えを
水口哲雄

問 伊豆の国市が誕生して早くも六年半がたち、平成一九年三月に「伊豆の国市総合計画」が策定されました。これはその後の一〇年間の伊豆の国市のまちづくり、行政運営の指針の骨格となるものです。

二四年度より後期五年がスタートします。前期はいわば基礎固めの五年であり、後期の五年こそそれなりの成果・結果を目に見える形で示す必要があります。伊豆半島の中心としての戦略も五〇年一〇〇年先を見すえた成長戦略を

描けなければなりません。

具体的には高度医療機関のもたらす安心感と関連事業による経済の活性化です。順天堂静岡病院はすでに市内最大の企業で、全国最高レベルです。この利点を最大限活用すべきです。病院と共存共栄を図り、もっともっと太い信頼関係を築くことが伊豆の国市の将来に直結し、市民の幸せにつながります。そこで質問します。

前期基本計画の仕上りは自己採点で何点ですか。素直に答えて下さい。

答 素直に点数付けしたいが、ほぼ順調に進んでいると答えておきます。

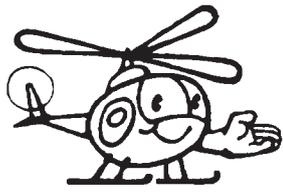
問 後期計画の中に医療、介護の集積を図るため、「医療特区」の考え方を入れることについては。

答 国において「総合特区」の考え方が示められ、東部地域の一二市町



松原橋高架橋下の調整池

問 狩野川中流域豪雨災害対策アクションプランの中で、市が検討する事になっている雨水貯留タンクの助成ついでの進捗は。



が広域で「医療産業総合特区」の申請をします。これに参加することが、市にとってもこれまでの医療産業集積への取り組みが評価され、発展に向けた追い風となるものと考えます。

防災ヘリポート予定地の「ヘリサイン」の設置状況

鈴木照久

問 ヘリサイン設置状況及び未設置地の対応は。

答 現在の防災ヘリポート予定地には、いずれもヘリサインは設置しておりません。予定地の大部分が建物の隣に位置していないため、設置に適する箇所がない事。

また、現在の防災ヘリコプターには、GPS機能が搭載

されています。位置の特定は比較的容易であると考えられますが、GPS機器の故障等もありますので、ヘリサインの設置も考えていきたい。

問 予定地以外の公共施設等への、ヘリサインの計画は。

答 県では、県下統一してヘリサインの設置対象・表示内容を定めています。設置対象は、市町庁舎・公立小学校・災害拠点病院であります。

表示内容は、市町番号・ハイフン・枝番となります。本市の公共施設では、市三庁舎と各小学校に表示されていますが、塗装が薄れてしまっている箇所もありますので、必要に応じ補修をしていきたいと考えております。また、その他の公共施設への設置は県と相談をして検討

してまいりたいと思います。

問 防災ヘリポート予定地の増設は。

答 当市は、伊豆半島の中心的位置であり、広域対応の事も考えながら、市内において、ヘリポートの保持すべき条件を満たす箇所を再度洗い出し、増設について検討したいと思えます。

※ヘリサインとは

災害時にヘリコプターで救助や物資運搬をする際、目印となる公共施設等の屋上に書かれている施設名や番号。

※GPSとは

グローバル(G)・ポジショニング(P)・システム(S)の略。人工衛星を利用し正確な場所を割り出す。



普通財産について

天野佐代里

問 財産調査にある普通財産の今後の見通しについての見解は。

答 行財政改革大綱集中改革プランに基づき、効率的な行政運営の推進・公共施設の見直し・未利用資産の売却などを実施して行きたい。

問 地価が下落傾向にあり、利用計画がないと、財政の健全化の観点から好ましくないのでは。

答 土地の価格は不安定であるが、健全財政の基準を踏まえて、早期に次の手段を考える。

防災力を高めるために

防災組織の新設を

問 既存の自主防災組織に加え、地域密着型の女性やボランティアを中心とした新しい組織をつくること



自主防災訓練 (応急手当)

見解は。

答 自主防災会の現状は男性中心となっている。女性や子供も含めた形で話し合いや訓練をする事が重要で、それにより災害時に機能するのではないかと考える。

問 防災リーダーとなるような地域の中の人材の掘り起こしが必要ではないか。

答 専門分野の特定の技術を持つている方の活用は、大変有効な手段であると考えられる。人材バンクのような登録制度などボランティアの受け入れ体制も確立して行きたい。

委員会の報告

総務委員会

平成二二年度一般会計決算

■戸籍新システム構築事業
決算額三五七〇万円は

窓口業務の合理化を図ることを目的とした新システムで、諸経費の節減と住民票等書類の保管が容易にでき、市民サービスの向上が図られた事業である。



市民サービス課窓口風景

■伊豆長岡庁舎、太陽光発電及び省エネ照明設備設置
決算額四六八八万円は
地域グリーンニューデール事業費補助金を活用して、

伊豆長岡庁舎に二〇キロワットの太陽光発電装置と省エネ照明設備を設置して、二三年二月より稼働。電気使用量の一割強を節電見込み。

■防災行政無線デジタル化
準備事業

決算額一億七三〇〇万円は平成一八年から平成二二年度の五年間で、総額六億九〇〇万円をかけて防災行政無線デジタル化整備工事を実施した。この事業で、同報無線・移動系無線のデジタル化が、二三年の三月で完了した。ただし、旧町からのアナログ戸別受信機は、残して使用している。



デジタル放送によるアナウンス中の職員

デジタル化の利点としては、災害時、電話や携帯電話が使用出来ない場合でも、デジタル化無線機で通信できる。移動系の無線機を使用して、地域の被害状況等を写真に撮り、災害対策本部に映像の送信をすることが出来るようになった。

■伊豆長岡駅のバリアフリー化
決算額五一五三万円は

市民の要望に応えるため伊豆箱根鉄道株式会社と協議の結果、総事業費一億五六三三万円のうち、本市が五一五三万円の負担をして、駅舎のバリアフリー化事業を推進した。エレベーター二機、二段手摺り、点字ブロック、通路の拡幅等の事業を完了した。



伊豆長岡駅エレベーター

■静岡地方税滞納整理機構負担金二七七万二八〇〇円は

市税で徴収が困難な滞納分について、県内市町で構成する「静岡地方税滞納整理機構」に徴収を委託した。基本負担金一〇万円、処理件数割り一件あたり一二万円で一五件を委託し、徴収ができたものについては徴収額の一〇%を負担した。この機構へ徴収を委託することを予告しただけでも自主納付する方もいて、かなりの効果があった。

観光建設委員会

平成二二年度一般会計決算

■粗大ごみ戸別収集受付手数料五二万八〇〇〇円は

回収受付五一〇件（一四一四品目）の納付券（一枚二〇〇円）収入である。

■橋梁長寿命化計画事業 二四〇万円は

平成二二年度一七橋の長持ち対策として、必要な補強や修繕の点検をするものである。市内対象四〇橋のうち、平成二二年度一九橋終了。残り四橋は平成二三年度で行なう。



深 沢 橋 (三 福)

■江間川植栽撤去工事 四二万七〇〇〇円は

大北区からの依頼で、大きく成りすぎた堤防のつつじを全て撤去し、法面修正したものである。

■白坂住宅維持管理事業 七二万八〇〇〇円は

一世帯当たり一四万二七五三元の移転補償や、地権者に返還するための整備費用である。残り二世帯は二三年度中に移転し、白坂住宅は廃止する予定である。

■プロジェクト（T O U K A I）事業六六三万円は

住宅の耐震化を図る目的で行うもの。専門家診断委託料一三五万円は、昭和五六年以前に建築された住宅を、一軒四万五〇〇〇円の補助により診断できるもので、三〇件を行った。

■地域観光情報発信事業 業務委託料三八九万五五〇〇円は

緊急雇用対策補助事業で、

地域情報を発信できる人材を育成することで観光振興に繋

げることを目的として、静岡FM放送（K I M I X）に業務委託して、市内のイベント情報などを放送するものである。

■伊豆の国市劇団運営事業 一九〇万円は

伊豆の国市劇団「いづ夢」に対する補助金で、藤田弓子さん及び劇団員の皆さんが、広告塔になり伊豆の国市のPRをして頂いている。

■農地・水・環境保全対策事業一〇一万九〇〇六円は

環境保全対策協議会への負担金などで、一〇アール、田・四四〇〇円畑・二八〇〇円の面積割で支払われ、農業の保全に対する様々な活動を実施している。

■畜産推進事業費充用額

二六万九〇〇〇円は
口蹄疫こうていえきのために緊急に対応しなければならず、予備費から石灰を購入し対処した。

下水道事業特別会計決算

■不納欠損額は

未払いで取立てを中止したものの三一件で、一一八〇万四七八九円。内訳は、破産法適用一一件、競売二件、死亡四件、住所不明二件、その他二件である。

上水道事業会計決算

■上水道事業の純利益は

上水道事業収益は六億一三八万九〇〇〇円。水道事業費用は五億一三六二万円で、昨年度に比べ不用施設の解体など特殊な工事がなく、全般的に経費削減したため純利益は八七七六万八〇〇〇円となった。

条 例 制 定

■伊豆の国市市営住宅管理条例の一部を改正は

入居手続き・住宅管理・賃貸規定等の明確化による条文整理である。

●敷金は家賃の三ヶ月に該当する額とあるが、きついのではないかと

公営住宅法に三ヶ月と定められている。

●住宅の明渡し請求等で迷惑入居の場合は

具体的には難しいと思いますが、警察沙汰になるようなことである。

●連帯保証人の念書は条例改正後も必要か

必要である。ただし、震災被災者の受け入れの様な市長が特別に認めたものについては不要である。



市 営 住 宅 (神 島)

福祉文教委員会

平成三十二年 一般会計決算

Ⅱ 教育部 Ⅱ

■大仁中学校の太陽熱利用と雨水利用の効果・実績は

太陽熱利用は教室の暖房に大変効果があった。雨水をトイレに使用し、必要量のほとんどをまかなえた。

■教育振興基金は旧葦山町から引き継がれ、四〇八二万円になっている。使いみちの検討は

具体的な考えは持っていない。設立の目的などを調べ、検討したい。

■葦山小学校の水道料は漏水の心配で調査・改善をしてきたはずだが、二

二年度も多い。対処は同規模校と比較しても多く、二三年に漏水調査を予定。

■遠距離通学費助成は、学期末ではなく早めの助成を

前払い金制度の検討をしているが、中途解約の問題もあり、実績支払いとなっている。

■長岡図書館は老朽化が進んでいる。今後の対策は

大正時代建造の小学校の講堂で、文化財指定され補強できない。移転の検討も要する。

Ⅱ 保健福祉部 Ⅱ

■住宅手当緊急特別措置事業は、どのような人に措置されたのか。また、住宅手当の金額は

会社を辞めたか解雇されて住居のない人などが対象。期間は基本的に六月。

二二年度は四六名受給。一八名は二三年に継続中。住宅手当は、一人世帯月額

三万七二〇〇円。複数世帯月額四万八三〇〇円が上限。

■生活保護運営事業は、前年度と比べ、四三世帯五人増

加の三八一世帯四九人というが、一年間の増減は

二二年度は、開始が九九世帯一四七名。廃止が五七世帯八六名。

■各種検診の受診状況は

女性のがん検診は若干上がり、他のがん検診は横ばい。微減であった。

■オストメイト対応トイレは、二二年度は葦山庁舎に設置したが市内の整備状況は

長岡庁舎・大仁庁舎・アークシスカつらぎ・広瀬公園内にある。

また、時代劇場には計画中である。

※オストメイトトイレとは

臓器に機能障害を負い、腹部に排泄のための人工肛門・人工膀胱を造設した方の専用トイレです。



■二二年新規事業ファミリーサポート事業の内容は

登録は、おねがい会員四六人、まかせて会員一六名。利用件数三〇九件。

内容は、保育施設への送迎や、保育園の保育時間前後の子供預かりが多い。



保育風景

平成三十二年 国民健康保険特別会計決算

■国保税資産割減額の検討は

経済状況悪く、税率変化で増額部分も考えられ、協議は停止中。給付費の上昇など見直しを要するときに協議する。

平成三十二年 後期高齢者医療特別会計決算

■特別徴収と普通徴収人数は

特別徴収四七六六人、七二・三％。普通徴収一八二七人、二七・七％（納付書納入八一六人 口座振替一〇一人）

平成三十二年 介護保険特別会計決算

■介護従事者の人手不足は労働内容のきつさなどで、特養も苦慮しているが、一定のものは確保できている。

■高齢者福祉タクシー券利用助成事業では、バス・タクシーだけでなく他のものにも利用できる共通券にしては

敬老祝い金と兼ねた「寿助成券」として、市内で商品も買える総合的な券にと課内

話が出ている。

閉会中の継続調査

六月議会終了後の各常任委員会の調査の報告です。

総務委員会

■調査目的

東日本大震災を教訓に、本市に於ける災害対策について調査を行った。

■大規模災害発生時の緊急対策

大規模災害の発生と国から発せられた災害予知情報は、即座に同報無線で全市民に伝達するシステムが出来ている。

同時に、市長を本部長とする緊急防災対策本部が設置され、市長の指令に基づき、全職員及び協力団体長が、各々の役割分担に従い、配置に着く組織が出来ている。

■被災状況の伝達

被災地に配置された職員により、被災状況をデジタル無線で、本部に映像送信できる

ので、本部の指示で被災への対応が速やかに出来る体制が整っている。



対策本部のスクリーンに映像送信されてきた様子

観光建設委員会

■準用河川山田川流域調整池建設工事の現場視察について

調整池建設工事の補助金が県に認められたため、

完成が一年早まるこのことで調整池の建設現場の進捗状況を視察した。総事業費一億三五〇〇万円

で平成二四年三月完成。

■城池親水公園の視察について

豊かな自然環境と史跡に恵まれている城池周辺を、歴史とふれあう憩いの場と自然観察のできる水辺環境としての活用を目指すため、水環境整備事業費二億九一〇〇万円で水辺の公園として整備された。

また、来年度は全国あやめサミットが開催されるため、花菖蒲の圃場を整備し植栽を行った。総事業費一五七五万円。

■葦山城址の視察

戦国時代に北条早雲が築いた、葦山城址の概略の説明があり、葦山城址の見学は現在城池公園から堀切道を登って「権現曲輪から塩蔵址」まで散策が可能。

福祉文教委員会

■調査目的

教育施設・福祉保健施設等の防災対策・防災計画に関する調査。

■調査施設

小学校三校・保健センター・子育て支援センター・特養ホーム・グループホーム・福祉村他

■調査内容・結果

- 教育施設について
 - 実際に即した避難訓練を。
 - 災害時の児童や家庭への対応は、統一した指導を。
 - 「危機対応マニュアル」を統一して、各園各校に普及したい。
 - 避難生活マニュアルや備蓄など教育施設のあり方を明確にしたい。
 - 子どもを守るための地域との連携強化と協議を深めたい。
- 福祉保健施設について
 - 施設では、障がい者のため避難訓練を二ヶ月毎に実施している。
 - 福祉施設では地域住民の避難受け入れ等協力に積極的であった。
 - 市民に災害時救護所についての周知徹底をされたい。



葦山福祉保健センター

平成23年 第3回(9月)伊豆の国市議会定例会

9月定例会は1日から28日までの28日間の会期で行われ、報告2件、条例改正4件、補正予算7件、決算認定9件、意見書2件などが上程可決承認された。

議案等一覧

◆伊豆の国市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定他 3 条例制定

◆平成 23 年度伊豆の国市一般会計補正予算（第 5 号）

歳入歳出総額に 11 億 3100 万円を追加し、総額 187 億 6800 万円とする。

◆平成 23 年度伊豆の国市特別会計補正予算 6 会計

【国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）・後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）・介護保険特別会計補正予算（第 2 号）・楠木及び天野揚水場管理特別会計補正予算（第 1 号）・簡易水道等事業特別会計補正予算（第 1 号）・下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）】

◆平成 22 年度決算における伊豆の国市健全化判断比率及び資金不足比率の報告他 1 報告

◆平成 22 年度伊豆の国市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額 196 億 6892 万 1229 円、歳出総額 185 億 7098 万 4880 円、歳入歳出差引額 10 億 9793 万 6349 円の決算が認定された。

◆平成 22 年度伊豆の国市特別会計歳入歳出決算の認定について 7 会計

【国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・楠木及び天野揚水場管理特別会計・簡易水道等事業特別会計・下水道事業特別会計】

◆平成 22 年度伊豆の国市上水道事業会計歳入歳出決算の認定について

◆議員発議による意見書の提出について

- 浜岡原発永久停止・廃炉を求める意見書
- 子ども・子育て新システムの撤回を求める意見書



広域廃棄物処理施設建設

市議会協議会発足

九月議会最終日（二八日）、全員協議会において、「伊豆の国市議会広域一般廃棄物処理施設設置についての協議会」が設立された。

現在、伊豆市・伊豆の国市が進めている一般廃棄物処理施設建設事業については、急がれることが望まれる。しかし、建設予定地域住民の反対運動のあることも事実であり、議会でも論点となつている。

協議会参加の市議二三人は、課題や考えを異にしているが熱意を共有している。各方面に耳を傾ける協議会の活動を、研修と議論の場として生かし、確かな視点をもって最善の結論を導きたい。

表紙絵について

大仁中二年生清水ひなのさんが初めて描かれた油絵です。「伊豆の国市」をテーマに、父と登った思い出の城山を描きました。

編集後記

朝夕が涼しさを通りこして、肌寒さを感じる今日この頃です。急に寒くなりましたので、紅葉が綺麗に色付く事と思います。

震災の影響で観光客の出足が遠のくと、観光地だけでなく、日本の元気が薄れるので、被災された皆様の事を気にかけてながらも、消費行動を行う事が、巡りに巡って被災地の復興にも寄与する事になります。

「金は天下のまわりもの」という言葉がありますが、経済社会は、資金の循環が停滞すると景気も停滞する社会です。ならば、私は酒の消費に努めましょう。「白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり（若山牧水）」
(俊)

議会だより
特別委員会

委員長 後藤 眞一
副委員長 天野 佐代里
委員 鈴木 照久
" " " 水口 成男
" " " 三好 陽一
渡邊 俊一